

化学肥料不使用
節減対象農薬8割減

2026年度 省農薬栽培あきさかり(認証③) 栽培ごよみ【移植】



JA越前たけふ
丹南農林総合事務所
越前市南越前町特別栽培
農産物生産者協議会

月旬別	4月			5月			6月			7月			8月			9月	9月~10月	11月~				
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬						
時期			育苗期	田植期、活着期			有効分げつ期			無効分げつ期			幼穂形成期			出穂期	登熟期		収穫期	土づくり	農閑期	
水管理	 耕起			代掻き 田植え			徐々に湛水 10cm程度の深水管理			中干し延期			中干し (現地検査) 幼穂形成期から飽水管理による間断通水 徐々に地固め			(現地検査) 収穫			稲わらの鋤き込み 作土深15cm以上	土づくり	湛水管理 2か月以上	
施肥	土づくり  ミネラルPK 60kg/10a		ケイフン  100~150kg	育苗  有機肥料入り 床土	基肥  HG有機666 60kg/10a		 施肥管理機			 追肥 1回目の穂肥(出穂30日前) 2回目も同量(幼穂長2mm) こだわり有機712 25~30kg/10a			 土改材散布									
農薬	 箱粒剤		 ダコニール1000		 ゼータジャガー粒剤			 水田除草機			 生き物調査			 ※ラウンドアップ・クロレートなどの 除草剤は使用不可								

①育苗

- 有機肥料入り床土を使用
- 播種目安 乾籾140g/箱
- 播種時に**化学肥料入り床土**
ダコニールや**苗箱薬剤**を
使用しない

②田植え

- 代掻きから田植えまでの
期間をできるだけ短く
- 栽植密度は50~60株/坪
- HG有機666 60kg/10a
- ゼータジャガー粒剤 1kg/10a

③田植え後

- 5cm程度の浅水管理で分げつ
促進。徐々に湛水し10cm程度
の深水管理へ
- 田植え後1か月を目安に田干し
- 除草機等で除草

④中干し前後

- 茎数は25本/株あれば十分
- 中干しの延期(7日程度)
- 生き物調査を実施
- 除草機等で除草
- 施肥管理機等で追肥

※葉色、茎数、草丈に応じて施用

⑤登熟~収穫期

- 胴割米対策として収穫直前
まで飽水管理による間断通水
- 適期刈取
(籾水分25%以下、
青籾割合10~15%)

⑥収穫後、農閑期

- ケイカル500kg/10a、
しきぶホワイト100kg/10a散布
耕起し稲わらの分解促進
- 11月~3月まで冬季湛水
(ふゆみずたんぼ)実施